

日本共産党

県議会議員

酒井ひろあき



1965年高崎市生まれ。高崎高校、金沢大学法学部卒。病院勤務などを経て、「しんぶん赤旗」県記者などを歴任。現在、群馬県議3期。ぐんま住民と自治研究所理事、原発をなくす前橋連絡会代表委員。上新田町在住。家族：妻



学校給食費を完全無料に

市町村と折半すれば県予算の0.5%で実現できます

コロナ禍や物価高騰が続く、子育て世帯の家計はますます苦しくなっています。今、全国で学校給食を無料にする自治体が急増。しかし、前橋市は第3子の無料にとどまっています。県に実施させ、すべての子どもの無料化を実現させます。

切実な要求実現へ

- ・医療介護の負担軽減
- ・国保税引き下げ
- ・ジェンダー平等
男女賃金格差をなくす
- ・気候危機打開
省エネ・再エネで原発ゼロ
- ・中小業者支援
住宅リフォーム助成
- ・畜産危機打開
家族農業応援し食糧自給率向上
- ・給付型奨学金制度の拡充
- ・補聴器購入に補助

マイタク・デマンドバス

県の支援で

もっと安く便利に

前橋市が運行しているタクシー運賃助成制度のマイタクは、上限1000円までの割引。長距離利用者の負担が重すぎます。デマンドバスも、自宅送迎方式に移行するなど、通院や買い物の足を確保します。



教員増で30人学級実現

いじめや不登校が増えています。教員の多忙化を解消するためにも、学校の先生を増やして、全学年の30人以下学級で行き届いた教育をめざします。

県議会議員候補者ビラ 酒井ひろあき選挙事務所

前橋市新前橋町 16-43 ☎027-289-8588 mail: jcp.maebashido@gmail.com

頒布責任者/前橋市天川大島町 3-26-28 笠原寅一 印刷者/甘楽郡甘楽町白倉 18-13 強矢デザイン事務所

証紙

「大軍拡 NO!」の声あげよう

くらしと平和を守る 1 票を

日本共産党 酒井ひろあきへ

岸田自公政権は、軍事費を今後 5 年間で 43 兆円に倍増し、世界第 3 位の軍事大国化を狙っています。アメリカの引き起こす戦争に参戦し、敵基地を攻撃すれば、相手国の報復攻撃で全面戦争に巻き込まれます。絶対に再び戦争の惨禍を繰り返してはなりません。

日本共産党は、軍拡財源確保のための消費税増税や社会保障の切り捨てを許しません。

県議選で「大軍拡・増税反対」のきびしい審判を下し、平和と暮らしを守りましょう。

43 兆円あれば実現できます

- ・ 高齢者の医療費を全額無料化
- ・ 特別養護老人ホームの増設
- ・ 大学までの学費無料化
- ・ 教員の倍増と全学年の 30 人以下学級
- ・ 学校給食費無料化の全国実施
- ・ 新型コロナの検査、医療費の無料継続

いま必要なのは 軍拡ではなく 憲法 9 条を生かした平和外交



戦争をおこさないための外交に知恵と力をつくす…これこそ政治のやるべきことです。

徹底した対話によって、東南アジアを「敵対と分断」から「平和と協力」の地域につくりかえた ASEAN（東南アジア諸国連合）に学ぶべきです。日本共産党は、東アジアを戦争のない平和な地域にするために全力をあげます。



- 吉村 駿一
吉田 直弘
山下 三郎
松本 賢一
堀 泰雄
平石 美奈
樋口 和彦
原戸 光
長谷川 薫
萩原 敦子
萩生田 光昭
仲道 宗弘
中道 浪子
丹治 杉江
店橋 厚
滝沢 俊治
瀧口 道生
下田 嘉丈
西須 雄大
近藤 好枝
小林 久子
小林 敏男
高坂 隆信
北爪 富枝
岸 弘子
笠原 寅一
小田 暁夫
大塚 武一
大川 正治
石田 清人
石川 祚子
新井 里美
秋山としひと
- 演劇人
前橋協立病院看護部長
演劇人
元教師
ハンセン・ともに生きる会事務局長
弁護士
群馬県平和委員会会長
年金者組合前橋支部長
新日本婦人の会前橋支部長
元前橋協立病院看護師
弁護士
医師
前橋市議
前橋市議
保育士
元 J A 富士見専務
前橋協立病院医師
群馬大学名誉教授
前橋民主商工会事務局長
原発賠償訴訟原告
元前橋市議
司法書士
元前橋図書館長
あゆみ保育園園長
前橋市議
建設業
元弁護士
はと保育園元園長
エスペラント作家
前橋民主商工会会長
東北工業大学名誉教授
前橋市議
弁護士

酒井ひろあきさんに期待します

